

## JICA 基金活用事業 案件概要

I. 事業の概要	
1. 事業名称	在日ブラジル人コミュニティにおける継承語教育やアイデンティティを育む支援及び移民劇や多国籍児童の相互交流を通じた多文化理解促進事業
2. 活動国・地域	日本・静岡県内
3. 事業分野	<input type="checkbox"/> 開発途上国・地域の人びとの貧困削減や生活改善・向上に貢献する事業 <input checked="" type="checkbox"/> 日本国内の多文化共生社会の構築推進、外国人材受入れ支援に関する事業
4. 事業の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ブラジルルーツの子どもたちが、継承語を学ぶことで自身のアイデンティティに誇りを持ち、親子の交流を円滑にする。</li> <li>・様々な国の子どもたちが関わり合うことによって、多文化理解を促進させる。</li> <li>・移民劇を開催することによって、日系ブラジル人への理解を促進する。</li> <li>・ボランティアの受け入れにより多文化を理解し共生しようとする市民を育成する。</li> </ul>
5. 事業の背景・経緯・対象地域の課題・人びとのニーズ	ポルトガル語を第一言語とする保護者と、日本語を多く使う子供との間で生じがちなコミュニケーションの障壁を和らげるため同事業を立ち上げ、ブラジルにルーツを持つ児童向けにポルトガル語クラスを実施してきた。また、日系ブラジル人の移民史を題材にした演劇を通して子供たちのアイデンティティ形成と日本人の理解促進に取り組んでいる。近年、浜松市では外国人住民の多国籍化が進み、ブラジル以外にフィリピンやベトナムなど他国にルーツを持つ子供が増加しており、本事業のような多文化交流の場のニーズが高まっている。
6. 事業の意義・目的	ブラジルにルーツを持つ子どもと保護者が言語・文化を学び合い、親子の安心感と自己肯定感を高め、日本社会で自信を持って活躍できる力を育む。あわせて、多国籍の子どもや日本人学生の参加、移民史への理解を通じて地域の多文化共生を促進し、浜松市における共生社会を担う人材を育成する。
7. 主な対象者（受益者）	外国にルーツを持つ子供およびその保護者、ポルトガル語や多文化交流に興味のある学生、一般市民や学校教育に関わる支援者など
8. 実施期間	(西暦) 2026年 4月～ 2027年 1月
9. 活動内容	1.ポルトガル語継承語クラス（児童向け）、日本語クラス（大人向け）の開催 2.公共施設訪問など、相互に交流できる場の開催 3.日系ブラジル人の移民の歴史を伝える移民劇の実施
9. 事業費	1,000,000円
II. 団体の概要	
1. 実施団体	Projeto Sementinha
2. 主な活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ポルトガル語母語継承語クラス（児童）日本語クラス（大人）の開催</li> <li>・日系ブラジル人の移民の歴史を伝える移民劇の実施</li> </ul>